

訂正版

(下線箇所訂正)

福島第一原子力発電所の状況

2015年9月11日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (9/11 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	27.6 °C	0.6 kPa g	A系： 0.01 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	33.5 °C	5.35 kPa g	A系： 0.03 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	32.0 °C	0.26 kPa g	A系： 0.06 vol%
		炉心スプレイ系：約2.2 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (9/11 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	27.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.5 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	25.4 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	23.7 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	9/9 13:39 ~ 9/10 14:29 移送実施
	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	9/10 15:12 ~ 移送実施中
3号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	9/9 13:39 ~ 9/10 14:29 移送実施
	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	9/10 15:12 ~ 移送実施中

※2015/9/11 8:17 2号機タービン建屋において、漏えい検知器が動作したことを示す「#2T/B ポンプ出口弁スキッド A 漏えい検知」の警報が発生。8:19 に2号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス主建屋への滞留水移送を停止。その後現場を確認したところ、当該漏えい検知器付近の天井から雨水と思われる滴下を確認。滞留水処理設備からの漏えいでないと判断。当該検知器のふき取り作業を実施し警報をクリアし、9:46 より移送を再開。

なお、上記の時間、念のため以下の滞留水の移送についても停止しております。

2号機原子炉建屋→集中廃棄物処理施設プロセス主建屋(8:23~9:46)

2号機廃棄物処理建屋→集中廃棄物処理施設プロセス主建屋(8:25~9:46)

3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設プロセス主建屋(8:26~9:46)

移送状況については、いずれも10:10 にパトロールし漏えい等の異常がないことを確認。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (9/11 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2015/9/9 10:40 頃、タンクパトロール中の当社社員が、H5タンクエリアに設置された内堰の北東側の継ぎ目から雨水が漏れいしていることを発見。このため 10:45 にH5タンクエリア外堰の排水弁を閉にし、H5タンクエリア堰内に溜まっている雨水については 11:24 にH6タンクエリア堰内への移送を開始。また、当該の漏れい箇所については、土嚢を設置。漏れい当初はえんぴつの芯2本分の漏れいであったが、暫定処置として継ぎ目に詰め物を行い、1秒に2滴程度で土嚢に替えてドレンパンで受け、現在堰外への流出はない。なお、当該エリアに設置されているタンクの水位に変動が無いこと、およびB・C排水路の連続側溝モニタにおいて有意な変動が無いことを確認。
その後、漏れい箇所にコーキング処置を行い、同日午後 8 時 55 分に漏れいが停止。また、外堰に溜まった雨水の回収を実施。
H5タンクエリア内堰および外堰内の雨水の分析結果
<H5タンクエリア内堰内の雨水>
 - ・セシウム 134:検出限界値(0.58 Bq/L)未満
 - ・セシウム 137:検出限界値(0.73 Bq/L)未満
 - ・全ベータ:34 Bq/L
 - ・トリチウム:検出限界値未満(91 Bq/L)未満<H5タンクエリア外堰内の雨水>
 - ・セシウム 134:検出限界値(0.92 Bq/L)未満
 - ・セシウム 137:検出限界値(0.80 Bq/L)未満
 - ・全ベータ:13 Bq/L
 - ・トリチウム:検出限界値未満(91 Bq/L)未満内堰からの漏れい量については、同日午前 7 時 40 分のパトロールにおいて漏れいが無いことを確認しており、それ以降に当該箇所から漏れいが発生、当該箇所の漏れい拡大防止処置が完了した同日 12:00 まで漏れいが継続したと仮定し、約 63L(鉛筆芯2本程度(14.4L/h)で漏れいが継続していたと仮定)と算出。なお、外堰の排水弁については、H5タンクエリア外堰の分析結果が排水路の通常の降雨時の値より低い値であったことなどから、同日 22:58 に「開」とした。
- 2015/9/9 17:38 頃、タンクパトロール中の協力企業作業員が、C東エリアA1タンクに接続している配管と内堰との貫通部から雨水が出ていること、およびC西エリアB1タンクに接続している配管と内堰との貫通部から雨水が出ていることを発見。その後、同日午後 6 時 28 分に当社社員が当該箇所を確認し、内堰の貫通部から外堰内への漏れいであると判断。外堰の排水弁については、同日午後 4 時頃に「閉」状態としていた。内堰から外堰への漏れいについては、発見当初それぞれ鉛筆1本分の漏れい。C西エリア内堰に溜まっている雨水については同日 19:04、C東エリア内堰に溜まっている雨水については同日 19:08、H5エリアへ移送を開始。雨水の移送によって、貫通部の高さよりも水位が下がり、C東エリアは同日 20:20、C西エリアについては同日 22:07 に漏れいが停止。その後、漏れい箇所にコーキング処置を実施。また、外堰に溜まった雨水の回収を実施。
Cタンクエリア(C東エリアおよびC西エリア)内堰および外堰内の雨水の分析結果
<C東エリア内堰内の雨水>
 - ・セシウム 134:検出限界値(0.59 Bq/L)未満
 - ・セシウム 137:検出限界値(0.71 Bq/L)未満
 - ・全ベータ:30 Bq/L
 - ・トリチウム:検出限界値(93 Bq/L)未満<C西エリア内堰内の雨水>
 - ・セシウム 134:検出限界値(0.60 Bq/L)未満
 - ・セシウム 137:検出限界値(0.72 Bq/L)未満
 - ・全ベータ:25 Bq/L
 - ・トリチウム:検出限界値(93 Bq/L)未満<Cタンクエリア外堰内の雨水>
 - ・セシウム 134:検出限界値(0.70 Bq/L)未満
 - ・セシウム 137:1.1 Bq/L
 - ・全ベータ:44 Bq/L
 - ・トリチウム:検出限界値(93 Bq/L)未満なお、外堰の排水弁については、Cタンクエリア外堰内の雨水の分析結果が排水路の通常の降雨時の値より低い値であったことなどから、9/10 10:02「開」とした。
- 2015/9/10 海側遮水壁について、鋼管矢板の打設作業を再開。

- ・2015/9/11 H4北タンクエリアにおいて、12:10 頃、同タンクエリアに設置された内堰から雨水が漏えいしていることを発見。漏えい状況は、鉛筆 1 本程度であり、同タンクエリアの外堰の排水弁については、「閉」状態であることを確認。その後、14:12 に、コーキング材による止水処理を実施し、漏えいが停止。H4北タンクエリア外堰内に溜まっている雨水については、H4タンクエリア内堰内に移送。
- ・2015/9/11 K排水路の排水については、同排水路内に堰を設けて、移送ポンプを設置し港湾内に繋がるC排水路へ移送しているが、9/11、K排水路に設置したカメラ映像を確認したところ、降雨の影響により、3:03 から4:20 および 5:20 から 5:50、また 6:13 分から 7:07 の間で雨水が堰を乗り越え、外洋側へ一部排水されていることを確認。その後は、K排水路内の雨水は全てC排水路に移送しており、外洋への排水はなし。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28～ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】・2015/6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 4,500m³の除去完了。7/10 充填完了。
- 【3号機】・2015/7/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 5,500m³の除去完了。8/27 充填完了。
- 【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- ・2015/9/14 準備が整い次第、一時貯水タンクから港湾内への排水を開始予定。
*天候などの状況により、日程変更の可能性あり。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。